

公民2章2節 40問テスト

1	アイヌ文化振興法にかわり2019年に制定された、アイヌ民族としての誇りが尊重される社会の実現を目的とした法律	21	社会権の1つで、使用者に対して弱い立場である労働者を守るための権利
2	1985年、雇用の男女平等を目指すために制定された法律	22	最低限度の生活を営むことができない人に必要な費用を支給する法律
3	1999年、男女が対等な立場であらゆる社会活動に参加することを旨とした法律	23	日本の教育の基本的な方針が定められた法律
4	障害のある人が教育や就職の面で不自由なく生活できる状態	24	労働基本権の1つで、労働者が労働組合などを作る権利
5	障害のある人や高齢者などが安全・快適に暮らせるよう、身体的・精神的・社会的な障壁を取り除こうという考え	25	労働基本権の1つで、労働組合が使用者と交渉する権利
6	1971年、障害者の福祉を推進することを目的に制定された法律	26	労働基本権の1つで、労働組合がストライキなどを行う権利
7	自由権の中でも、個人の思想や考えに関する自由のこと	27	国民が政治に参加する権利
8	自由権の中でも、不当逮捕の禁止や拷問の禁止などに関する自由のこと	28	参政権の1つで、国会議員や市区町村長などを選ぶ権利
9	自由権の中でも、住む場所や職業などに関する自由のこと	29	参政権の1つで、国会議員や市区町村長などに立候補する権利
10	精神の自由の中でも、物事のよしあしを自分で判断する自由	30	参政権の1つで、憲法改正の際に国民が投票によって決めることができる権利
11	精神の自由の中でも、信仰や宗教選択の自由	31	参政権の1つで、最高裁判所の裁判官を、国民が直接審査する権利
12	精神の自由の中でも、集まったり、団体をつくったり、意見を発表したりする自由	32	参政権の1つで、国民が国や地方に対し要望をする権利
13	精神の自由の中でも、研究や研究成果の発表の自由	33	国に対して一定の行いをするように要求する権利
14	日本国憲法で禁止されている、国が本や放送などを事前に調査し、不相当と判断した際に発表を禁止すること	34	請求権の1つで、裁判所に裁判を行うように求める権利
15	裁判官の出す逮捕や捜索などを許可する文書	35	請求権の1つで、公務員の行為によって受けた損害に対して、賠償を請求する権利
16	経済活動の自由の中でも、住む場所や職業を選ぶ自由	36	請求権の1つで、裁判で無罪になるなど不当に損害を受けた場合、国に補償を請求する権利
17	経済活動の自由の中でも、財産を蓄える権利のこと	37	日本国憲法において、人権の限界を表す言葉である、社会全体の利益のこと
18	社会権の1つで、日本国憲法第25条で保障されている「健康で文化的な最低限度の生活を営む」権利	38	国民の三大義務の一つ 教育に関する義務
19	社会権の1つで、すべての国民が教育を受けられることができる権利	39	国民の三大義務の一つ 労働に関する義務
20	社会権の1つで、働く権利	40	国民の三大義務の一つ 税金に関する義務

公民2章2節 40問テスト

1		21	
2		22	
3		23	
4		24	
5		25	
6		26	
7		27	
8		28	
9		29	
10		30	
11		31	
12		32	
13		33	
14		34	
15		35	
16		36	
17		37	
18		38	
19		39	
20		40	

月 日()提出

公民2章2節 40問テスト

1		21	
2		22	
3		23	
4		24	
5		25	
6		26	
7		27	
8		28	
9		29	
10		30	
11		31	
12		32	
13		33	
14		34	
15		35	
16		36	
17		37	
18		38	
19		39	
20		40	

年 組 番 氏名

/40点

公民2章2節 40問テスト

1		21	
2		22	
3		23	
4		24	
5		25	
6		26	
7		27	
8		28	
9		29	
10		30	
11		31	
12		32	
13		33	
14		34	
15		35	
16		36	
17		37	
18		38	
19		39	
20		40	